「命のみなとネットワーク」とは

国土交通省

近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生しています。陸路が寸断して孤立化した被災地において、海上輸送を活用した緊急物資や生活物資、救援部隊や被災者の輸送等の事例も増えつつあります。

こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した、災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域にこのネットワークが形成できるように取組を進めていきたいと考えています。

具体的な取組として、災害時に速やかに対応できるように、国土交通省と関係市町村等が合同で、物資又は人員輸送に係る訓練を行ってまいります。

また、「命のみなとネットワーク」の理解を深めていただくため、“みなと”を活用して災害支援を行った事例を国土交通省HP上※に公表しております。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【支援物資輸送拠点】



R６年能登半島地震時の支援物資輸送（石川県七尾港）

【生活支援拠点】



H28年熊本地震発生後、官公庁船から市民への給水を実施（熊本県熊本港）

【被災者の救援輸送拠点】



R６年７月大雨で孤立した地域で住民輸送を実施（島根県出雲市）

国土交通省HP：https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr7_000103.html